

古市ふるさとネット 第157号

古市地区の人口 5月末

男	女	計	世帯	古市幼・小学校
932	1209	2141	939	小学生 101名
-2	-5	-7	-2	幼稚園 26名



丹波篠山市波賀野 682-2 (古市コミュニティ消防センター)

TEL & FAX 079-595-1085

【編集・発行】古市地区まちづくり協議会

ホームページ <http://furuichimachikyo.com/>

～ 命を大切にゆるぎない歩み 古市小学校「安全のつどい」～



また、安全担当の先生が「～六年生の各学年の安全教育の取組みを発表されました。」

六月二日の「安全のつどい」を風化させることなく、命の大切さをしっかりと肝に銘じ、誰もが安全について深く考え、安全・安心な学校園づくりを誓いました。

六月二日、酒井綾菜さんに祈りをささげると共に、安全・安心な学校園づくりを目指して「安全のつどい」が開催されました。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場への入場を六年生とその保護者、運営協議会委員に限定しました。他学年の児童は、インターネットを通じて会の様子を視聴し、各学年の教室で参加しました。会の最初に全員で黙祷し、綾菜さんのご冥福をお祈りしました。

荻野校長の誓いの言葉では、「祈り」をささげるとともに、学校が安全で安心な場所であり続けられるよう「安全のつどい」を開催し、継続した安全の取組みを緩むことなく推進していくことを誓いました。続いて、児童代表が「今、改めて命の尊さや、毎日の安全のすばらしさを感じています。これからも今まで学習してきたことを活かし、安全や命を大切に生きていきます。」と力強く誓いました。



第48回全日本きもの着付け選手権大会 兵庫支部、南矢代学園、篠山学園 きもの着付け発表会

平成元年3月1日より丹波篠山の地に開校させて頂いて約33年。色々な方々に御指導頂き、デカンショ祭、文化祭と色々な行事に参加させて頂き、皆さんと一緒に丹波篠山の地に根づかせてもらいうれしい着物人生です。ありがとうございます。古市コミュニティ消防センターはJR古市駅に近く、建物は美しく整備され丹波篠山市の建物ならではの所です。このような立派な所で発表会をさせて頂き、コロナ騒動は夢のようでした。ありがとうございました。秋の勉強会や来年の発表会も使わせて頂きたいと思っています。

(兵庫支部 支部長 光月知津子)



令和3年6月6日(日)古市コミセンにて

文芸紹介

若葉句会 六月投稿句から

緑ある句碑訪ふ人や草茂る

初夏や一日一日の草の丈

順次に刈り行く後から草茂る

土手の草刈られし後のそれぞれに

流れ避け淀に集ふあめんぼう

草茂る葉陰に虫の雨宿り

あめんぼう乗せて手狭の水溜り

草茂る中へ一筋獣道

西井 節子

松本 みち女

松本 美智子

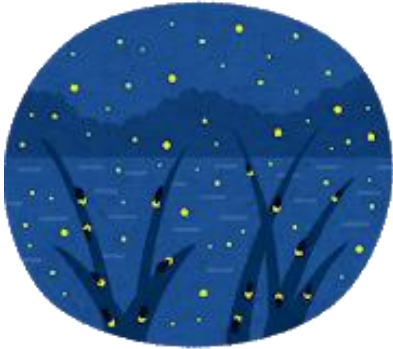
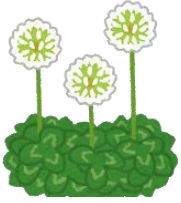
藤本 とし子

酒井 實

秋月 祐

秋月 聖子

酒井 八重子

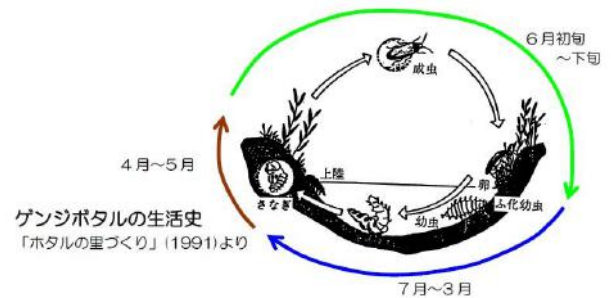


今年もたくさんのホタル舞う

毎年恒例のホタル観賞会は、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止となりましたが、夜の川沿いでは幻想的な光景が見られました。日本でよく見られるホタルにはゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの3種類がありますが、丹波篠山の川沿いに多いのはゲンジボタルです。市内の小学6年生を対象とした「令和2年度生きものに関するアンケート」結果では、ゲンジボタルは守りたい生きものランキングの2位となっています(1位はカワセミ、3位はツバメ)。

昨今では、ライフスタイルの変化、河川・農地の整備等による自然環境の変化により、子どもたちが自然に接する機会は減少しています。一方で、ホタルの繁殖時期に配慮した川刈り時期の後倒しは、草の高い背丈などにより高齢化・担い手不足の進む集落では厳しいという声もききます。

現在にまで受け継がれてきた生活と自然環境を未来にどのようにつなげていくか。「あっちの水は苦いぞ、こっちの水は甘いぞ」と歌いながらホタルを追いかける子どもの背中を見て思います。(吉良佳晃)



7月の各部の活動予定

健康福祉部

- ◆いきいき塾 (やすらぎ園) ※市と協議中
◆ディサービス

文化活動部

- ◆会報印刷(158号)
◆会報仕分け・発行
◆部会

生活安全部

- ◆花事業
◆幼稚園芝刈り・JR 官舎跡草刈り

コミュニティ部

- ◆ふるいち夢カフェ
◆お菓子作り教室
◆部会
※健康講座、手芸講座については新型コロナウイルス感染拡大防止の為、お休みします

事務局

- ◆運営委員会